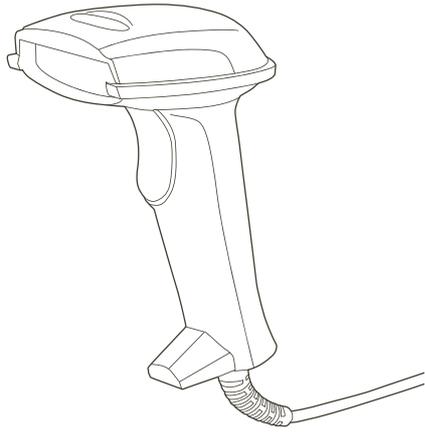


2次元バーコードリーダー 取扱説明書 BCR-005



この度は、2次元バーコードリーダー「BCR-005」(以下本製品)をお買い上げいただき誠にありがとうございます。この取扱説明書では、本製品の使用方法や安全にお取扱いいただくための注意事項を記載しております。ご使用前によくご覧ください。読み終わったあとこの取扱説明書は大切に保管してください。

最初にご確認ください

お使いになる前に、セット内容がすべて揃っているかご確認ください。
万一、足りないものがございましたら、お買い求めの販売店にご連絡ください。

セット内容

- ①バーコードリーダー …… 1台
 - ②取扱説明書(本書) …… 1部
- ※欠品や破損があった場合は、品番(BCR005)と上記の番号(①~②)と名称(取扱説明書など)をお知らせください。

本取扱説明書の内容は、予告なしに変更になる場合があります。
最新の情報は、弊社WEBサイト(<https://www.sanwa.co.jp/>)をご覧ください。

デザイン及び仕様については改良のため予告なしに変更することがあります。
本書に記載の社名及び製品名は各社の商標又は登録商標です。

サンワサプライ株式会社

目次

1. 使用上のご注意
2. 本製品の特長
3. 対応機種・対応OS
4. 各部の名称と働き
5. 本製品の接続方法
6. 本製品の使用方法
7. バーコード設定
8. ビープ音とインジケータ通知
9. USBキーボードの設定
10. 各種コードの設定方法
 - 10-1 Codabarの設定
 - 10-2 Code39の設定
 - 10-3 Code32の設定
 - 10-4 Interleaved 2 of 5(ITF25)の設定
 - 10-5 Code 93の設定
 - 10-6 Code 128の設定
 - 10-7 GS1-128の設定
 - 10-8 UPC-Aの設定
 - 10-9 UPC-A to EAN-13の設定
 - 10-10 UPC-Eの設定
 - 10-11 UPC-E to UPC-Aの設定
 - 10-12 EAN/JAN-8の設定
 - 10-13 EAN/JAN-13の設定
 - 10-14 EAN13 to ISBNの設定
 - 10-15 EAN13 to ISSNの設定
 - 10-16 GS1 DataBar(RSS14)の設定
 - 10-17 GS1 DataBar Limitedの設定
 - 10-18 GS1 DataBar Expandedの設定
 - 10-19 PDF417の設定
 - 10-20 QR Codeの設定
 - 10-21 Micro QRの設定
 - 10-22 Data Matrixの設定
 - 10-23 Aztec Codeの設定

1. 使用上のご注意

本製品は通常の使用においてはきわめて安全ですが、使用上の注意を守って正しくお使いください。

- LED発光部をずっと見たり、他人の目に向けて発光しないでください。
- 製品を分解したり、改造したりしないでください。
- 使用環境を守ってお使いください。
- 本製品に衝撃を加えないでください。
- 保証規定をよく読み、正しくお使いください。

2. 本製品の特長

- 2次元コード(QRコード・GS1・DataMatrix)、1次元コード(JAN・CODE39・UPC・EAN)の読み取りが可能なバーコードリーダーです。
- 専用スタンド(別売り)と組み合わせると、オートセンシング機能(自動読み取り機能)が使用可能です。
- 30フレーム/秒の高速読み取りが可能です。
- USB接続でパソコン本体から電源供給されるので、専用電源が不要です。
- 読み取ったバーコードデータはキーボードデータとして直接パソコンに入力可能です。
- 取扱説明書(本書)の設定用バーコードを読み込むことで、本製品の設定を変更することができます。

3. 対応機種・対応OS

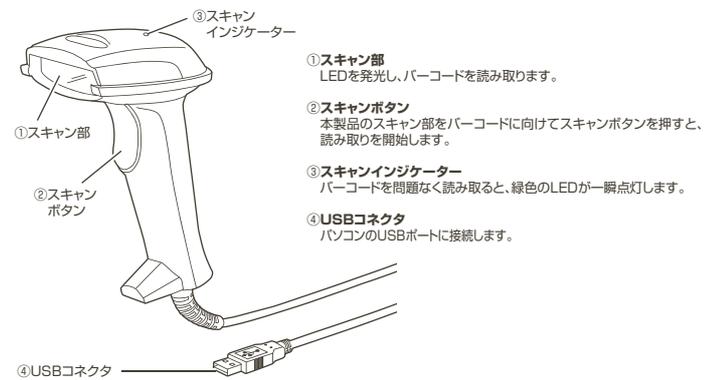
■ 対応機種

- Windows搭載(DOS/V)パソコン
- ※USBポート(Aタイプコネクタ)を持つ機種。

■ 対応OS

- Windows 10・8.1・8・7・Vista
- ※機種により対応できないものもあります。
- ※この文章中に表記されるその他すべての製品名などは、それぞれのメーカーの登録商標、商標です。

4. 各部の名称と働き

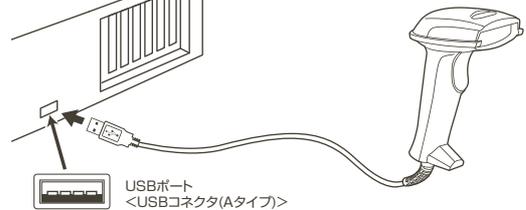


- ① **スキャン部**
LEDを発光し、バーコードを読み取ります。
- ② **スキャンボタン**
本製品のスキャン部をバーコードに向けてスキャンボタンを押すと、読み取りを開始します。
- ③ **スキャンインジケータ**
バーコードを問題なく読み取ると、緑色のLEDが一瞬点灯します。
- ④ **USBコネクタ**
パソコンのUSBポートに接続します。

5. 本製品の接続方法

※重要:
バーコードリーダーを接続する前に他のアプリケーション(ウイルス検知ソフトの常驻ファイル等)を終了させておくことをお薦めします。

本製品はUSBインターフェースに対応したバーコードリーダーですので、接続は次のように行います。
接続の際、コネクタには上下がありますので注意してください。



1. パソコンの電源を入れ、Windowsを完全に起動させます。
2. 本製品をパソコンのUSBポートに接続します。
3. 自動的にハードウェアの検知が始まり、デバイスドライバを更新するためのウィザードが起動します。インストール作業中は、バーコードリーダーを動かさないでください。

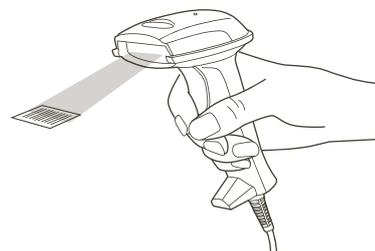
<Windows 10・8.1・8・7の場合>

タスクバーに「デバイスドライバソフトウェアをインストールしています。」
「USB入力デバイス」と表示されて、自動的にインストールが完了します。

<Windows Vistaの場合>

タスクバーに「デバイスドライバソフトウェアをインストールしています。」
「USBヒューマンインターフェイスデバイス」と表示されて、自動的にインストールが完了します。

6. 本製品の使用方法



<ハンドスキャン>

手に持ってスキャンボタンを押しバーコードを読み取ります。

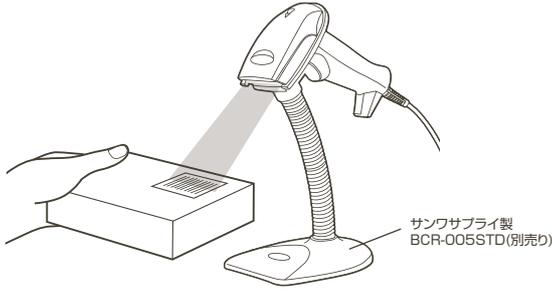
1. 本製品をパソコンに接続するとスキャンインジケータのLEDが一瞬点灯します。
2. スキャン部をバーコードに向けてスキャンすると、LEDが発光します。
3. バーコードを読むと、ビープ音がします。スキャン部はLEDが発光し、スキャンインジケータが緑に発光して、データはパソコンへ転送されます。

6.本製品の使用方法(つづき)

<オートスキャン>

本製品を別売りの専用スタンド(BCR-005STD)に取付けてバーコードを読み取ります。

スタンドに取付けると、オートスキャンモードに切替わります。取外すと、ハンドスキャンモードに切替わります。読み取りたいバーコードをスキャン部に持って行くと、スキャンボタンを押さなくても、自動的に読み取ることができます。



7.バーコード設定

本製品は専用のバーコードを読み取ることで、様々な設定を変更できます。

■バーコードの設定

<ユーザー定義の設定を復元(デフォルト)>



Restore user defaults

<ユーザー定義の設定の保存>



Save user defaults

■インターフェース設定

本製品は下記のバーコードを読み取ることでUSBキーボードとの接続が可能になります。

<USBキーボードと接続(デフォルト)>



USB KB (default)

■画面読み取りモード設定

画面読み取りモードを有効にすると、パソコンやタブレット・スマートフォンの画面に移したコードを読み取ることができます。※このモードを有効にすると読み取りの速度が遅くなります。必要な時にだけ有効にすることをお勧めします。

<画面読み取りモード/無効(デフォルト)>



Disable Screen Read Mode (Default)

<画面読み取りモード/有効>



Enable Screen Read Mode

8.ビープ音とインジケータ通知

■ビープ音の音量設定

ビープ音の音量を設定できます。

<音量大(デフォルト)>



Volume high (default)

<音量小>



Volume low

■読み取り成功時のビープ音(音低)設定

読み取り成功時のビープ音(音低)の設定ができます。

<読み取り成功時のビープ音・低音>



Low pitch

<読み取り成功時のビープ音・標準(デフォルト)>



Middle pitch (default)

<読み取り成功時のビープ音・高音>



High pitch

9.USBキーボードの設定

■キーボードのレイアウト設定

使用するキーボードの設定を選択します。

<英語キーボードを使用する場合>



English (UnitedStates)

<日本語キーボードを使用する場合>



Japanese

10.各種コードの設定方法

本製品は記号や各種コードの読み取りのオン・オフなどを設定できます。読み取りできる記号やコードの種類が増えると、読み取りが遅くなります。必要な記号やコードのみ設定をオンにすることをお勧めします。

■設定方法

本紙記載の設定用バーコードをスキャンし、必要なコードの設定を有効にします。(10-1～10-23まで)

10-1.Codabarの設定

■Codabarの読み取り(有効・無効)設定

<Codabarの読み取り/有効>



Enable Codabar

<Codabarの読み取り/無効>



Disable Codabar

■Codabarの開始文字・終了文字(有効・無効)設定

<開始文字・終了文字の送信/無効(デフォルト)>



Don't send Codabar start/ending character (default)

<開始文字・終了文字の送信/有効>



Send Codabar start/ending character

10-2.Code 39の設定

■Code 39の読み取り(有効・無効)設定

<Code 39の読み取り/有効>



Enable Code 39

<Code 39の読み取り/無効>



Disable Code 39

■Code 39 Full ASCIIの送信(有効・無効)設定

<Code 39 Full ASCIIの送信/有効>



Enable Full ASCII

<Code 39 Full ASCIIの送信/無効(デフォルト)>



Disable Full ASCII (default)

10-3.Code 32の設定

※Code 32を読み取る場合はCode 39を有効にしてください。Code 39を無効にするとCode 32の読み取りができなくなります。Code 32はイタリアの製薬業界で使われているCode39の変異体です。

<Code 32の読み取り/有効>



Enable Code 32

<Code 32の読み取り/無効>



Disable Code 32

10-4.Interleaved 2 of 5(ITF25)の設定

■Interleaved 2 of 5(ITF25)(有効・無効)設定

<Interleaved 2 of 5(ITF25)の読み取り/有効>



Enable ITF25

<Interleaved 2 of 5(ITF25)の読み取り/無効>



Disable ITF25

10-5.Code 93の設定

<Code 93の読み取り/有効>



Enable Code 93

<Code 93の読み取り/無効>



Disable Code 93

10-6.Code 128の設定

<Code 128の読み取り/有効>



Enable Code 128

<Code 128の読み取り/無効>



Disable Code 128

10-7.GS1-128の設定

<GS1-128の読み取り/有効>



Enable GS1-128

<GS1-128の読み取り/無効>



Disable GS1-128

10-8.UPC-Aの設定

■UPC-A(有効・無効)設定

<UPC-Aの読み取り/有効>



Enable UPC-A

<UPC-Aの読み取り/無効>



Disable UPC-A

■UPC-Aチェックディジット設定

<UPC-Aのチェックディジット/有効(デフォルト)>



Send UPC-A check bit (default)

<UPC-Aのチェックディジット/無効>



Don't send UPC-A check bit

10-9.UPC-A to EAN-13の設定

<UPC-A to EAN-13の読み取り/有効>



Enable UPC-A to EAN-13

<UPC-A to EAN-13の読み取り/無効(デフォルト)>



Disable UPC-A to EAN-13(default)

10-10.UPC-Eの設定

■UPC-Eの読み取り(有効・無効)設定

<UPC-Eの読み取り/有効>



Enable UPC-E

<UPC-Eの読み取り/無効>



Disable UPC-E

■UPC-Eチェックディジット(オン・オフ)設定

<UPC-Eのチェックディジット/有効>



Send UPC-E check bit(default)

<UPC-Eのチェックディジット/無効>



Don't send UPC-E check bit

10-11.UPC-E to UPC-Aの設定

<UPC-E to UPC-Aの読み取り/有効>



Enable UPC-E to UPC-A

<UPC-E to UPC-Aの読み取り/無効(デフォルト)>



Disable UPC-E to UPC-A (default)

10-12.EAN/JAN-8の設定

<EAN/JAN-8の読み取り/有効>



Enable EAN/JAN-8

<EAN/JAN-8の読み取り/無効>



Disable EAN/JAN-8

10-13.EAN/JAN-13の設定

<EAN/JAN-13の読み取り/有効>



Enable EAN/JAN-13

<EAN/JAN-13の読み取り/無効>



Disable EAN/JAN-13

10-14.EAN13 to ISBNの設定

<EAN13 to ISBNの読み取り/有効>



Enable EAN13 to ISBN

<EAN13 to ISBNの読み取り/無効>



Disable EAN13 to ISBN (default)

10-15.EAN13 to ISSNの設定

<EAN13 to ISSNの読み取り/有効>



Enable EAN13 to ISSN

<EAN13 to ISSNの読み取り/無効(デフォルト)>



Disable EAN13 to ISSN (default)

10-16.GS1 DataBar(RSS14)の設定

<GS1 DataBar(RSS14)の読み取り/有効>



Enable GS1 DataBar

<GS1 DataBar(RSS14)の読み取り/無効>



Disable GS1 DataBar

10-17.GS1 DataBar Limitedの設定

<GS1 DataBar Limitedの読み取り/有効>



Enable GS1 DataBar Limited

<GS1 DataBar Limitedの読み取り/無効>



Disable GS1 DataBar Limited

10-18.GS1 DataBar Expandedの設定

<GS1 DataBar Expandedの読み取り/有効>



Enable GS1 DataBar Expanded

<GS1 DataBar Expandedの読み取り/無効>



Disable GS1 DataBar Expanded

10-19.PDF417の設定

<PDF417の読み取り/有効>



Enable PDF417

<PDF417の読み取り/無効>



Disable PDF417

10-20.QR Codeの設定

<QR Codeの読み取り/有効>



Enable QR

<QR Codeの読み取り/無効>



Disable QR

10-21.Micro QRの設定

<Micro QRの読み取り/有効>



Enable Micro QR

<Micro QRの読み取り/無効>



Disable Micro QR

10-22.Data Matrixの設定

<Data Matrixの読み取り/有効>



Enable Data Matrix

<Data Matrixの読み取り/無効>



Disable Data Matrix

10-23.Aztec Codeの設定

<Aztec Codeの読み取り/有効>



Enable Aztec

<Aztec Codeの読み取り/無効>



Disable Aztec

保証書

型番 BCR-005		
シリアルナンバー		
お客様	お名前	
	ご住所	〒 TEL
販売店	販売店名・住所・TEL	
	担当者名	
保証期間	6ヶ月間	お買い上げ年月日 年 月 日

※必要事項をご記入の上、大切に保管してください。

保証規定

- 保証期間内に正常な使用状態でご使用の場合に限り品質を保証しております。万一保証期間内で故障がありました場合は、弊社所定の方法で無償修理いたしますので、保証書を製品に添えてお買い上げの販売店までお持ちください。
- 次のような場合は保証期間内でも有償修理になります。
 - (1)保証書をご提示いただけない場合。
 - (2)所定の項目をご記入いただけない場合、あるいは字句を書き換えられた場合。
 - (3)故障の原因が取扱上の不注意による場合。
 - (4)故障の原因がお客様による輸送・移動中の衝撃による場合。
 - (5)天変地異、ならびに公害や異常電圧その他の外部要因による故障及び損傷の場合。
 - (6)譲渡や中古販売、オークション、転売などでご購入された場合。
- お客様ご自身による改造または修理があったと判断された場合は、保証期間内での修理もお受けいたしかねます。
- 本製品の故障、またはその使用によって生じた直接、間接の損害については弊社はその責を負わないものとします。
- 本製品を使用中に発生したデータやプログラムの消失、または破損についての補償はいたしかねます。
- 本製品は医療機器、原子力設備や機器、航空宇宙機器、輸送設備や機器などの人命に関わる設備や機器、及び高度な信頼性を必要とする設備や機器やシステムなどへの組み込みや使用は意図されておりません。これらの用途に本製品を使用され、人身事故、社会的障害などが生じても弊社はいかなる責任も負いかねます。
- 修理ご依頼品を郵送、またはご持参される場合の諸費用は、お客様のご負担となります。
- 保証書は再発行いたしませんので、大切に保管してください。
- 保証書は日本国内においてのみ有効です。

最新の情報はWEBサイトで!! <https://www.sanwa.co.jp/>

- サポート情報
- Q&A(よくある質問)
- ソフトダウンロード
- 各種対応表 など、最新情報を随時更新しています。

▼トップページから



▼サポートページへ



ご質問、ご不明な点などがありましたら、ぜひ一度弊社WEBサイトをご覧ください。

各情報ページを直接ご覧いただくこともできます。

本取扱説明書の内容は、予告なしに変更になる場合があります。最新の情報は、弊社WEBサイト(<https://www.sanwa.co.jp/>)をご覧ください。

サンワサプライ株式会社

ver.1.1

岡山サプライセンター / 〒700-0825 岡山県岡山市北区田町1-10-1 TEL.086-223-3311 FAX.086-223-5123
 東京サプライセンター / 〒140-8566 東京都品川区南大井6-5-8 TEL.03-5763-0011 FAX.03-5763-0033
 札幌営業所 / 〒060-0808 札幌市北区北八条西4-1-1 パストラルビルN8 TEL.011-611-3450 FAX.011-716-8990
 仙台営業所 / 〒983-0852 仙台市宮城野区福岡1-6-37 宝栄仙台ビル TEL.022-257-4638 FAX.022-257-4633
 名古屋営業所 / 〒453-0015 名古屋市中村区椿町16-7 カジヤマビル TEL.052-453-2031 FAX.052-453-2033
 大阪営業所 / 〒532-0003 大阪市淀川区宮原4-1-45 新大阪八千代ビル TEL.06-6395-5310 FAX.06-6395-5315
 福岡営業所 / 〒812-0012 福岡市博多区博多駅中央街8-20 第2博多相互ビル TEL.092-471-6721 FAX.092-471-8078

BJ/AB/TTKHDac